

そんなところにはいないトップが

次の10年を設計し

蓮田を

選ばれるまちへ

動かす

民間発し  
ながら  
みゼロ  
武藤  
やすし



相談・申請の完全ワンストップ化

保育・学童の柔軟な運営

子育て動線の抜本的改善

学びと居場所の再設計

「蓮田で育ち・働く」支援

「待たせない・迷わせない」子育て支援窓口

空き施設や民間リソースを活用した待機児童対策

駅前保育送迎拠点の設置など、通勤・通学に合わせた省時間設計

学校・地域・民間スペースを活用した子どもたちの居場所づくり

奨学金返還支援（企業協賛型）や、保護者のリスクリング(新しい学び)支援

子育て生活の質的向上で次世代へ集中投資

的を絞った効率的支援への転換

細かな足を確保するデマンド交通

地域見守り・居場所づくり

横断的な連携体制

高齢者や障がいのある方など支援が必要な方へ確実に届く福祉制度への再設計

既存バス路線と棲み分け、タクシー・配送業者とも連携

買い物や通院の負担を減らす「支え合いモデル」の構築

医療・福祉・交通・民間サービスをシームレスに繋ぐネットワーク

誰も取りこぼさない安心できる暮らしの基盤

主導的な農業振興  
(地域連携・経営体設立)



そして

鷹の目で  
俯瞰  
ていねいな市政を



スケートパーク等  
若者向け新文化拠点の設置

地元調達推進と起業家支援



年齢問わず楽しめる  
eスポーツ拠点の設置

公共施設整備十画を  
机上から現場へ



環境と自然を  
地域の本格ブランドに

臨場感を持ち  
避難所の整備・防災体制を確立



国・県との連携事業→  
蓮田SA下り線のフル化推進  
地下鉄7号線への取り組み

災害避難場所にもなる  
小学校体育館への早期エアコン設置



「やりたい事はわかった。でも財源はどうするの？」

小学校トイレの早期全面洋式化



理想で終わらせない。  
確実に財源を生み出し実行する4つの【エンジン】は裏面へ!

# 推進力



## 市民の期待を奪い続けた「静かな停滞」

私は全てのしがらみを断ち切り、停滞を打破して今こそ市政を転換します。守る市政から、「稼ぎ、挑戦し、市民生活を豊かにする」攻めの市政へ。新しいエンジンをフル稼働させ、「未来に向かって変わる蓮田」を実現します。

# 1

「にぎわい2大拠点」の創出  
商業施設・企業誘致とトップセールス  
眠る資産の徹底活用

蓮田駅前と川島（蓮田SA周辺）を核として開発  
規制の見直しとインフラ整備で、市長自ら営業して投資と雇用を呼び込む  
公有地の「貸す・任せる・売る」、ネーミングライツなどの収益化

## 稼ぐ市政で財源を生み出す

# 2

民間資金・ノウハウの導入  
蓮田みらいデザイン会議  
専門コーディネート機能

官民連携（PPP/PFI）等で事業スピードアップとコスト低減  
プロ・若者と行政が未来像を共に描き、実現への道筋をつくる  
民間・行政・市民を情報でスムーズにつなぐ専門部署の配置

## 民間協働・外部知活用で新しい市政を

# 3

「行かない・待たない」市役所へ  
事業の徹底的な棚卸し  
生み出した人材の再配置

行政手続きのデジタル化・オンライン化を急速整備  
「廃止・転換・重点化」の精査と、KPI（成果指標）の徹底  
ルーティン業務を自動化し、マンパワーを「政策づくり」部隊へ

## 時間とマンパワーを生む市役所改革とDX

# 4

国・県・民間との常時接続  
官庁経験者の招聘

外部ネットワークを構築し、政策、補助金、  
交付金を迅速に把握しタイムリーに市の施策へ反映  
国と直結し、政策動向をいち早く掴み、練り上げて事業化する体制づくり

→10～15年先に向けた蓮田の都市像を具現化。

## 人的ネットワーク強化で圧倒的な実行力

政策の詳細はこちら



公式HP



### 【武藤やすし プロフィール】

- 1953 ● 東京都大田区生まれ。5歳で関西引っ越し
- 1972 ● 灘高等学校卒業
- 1972 ● 一橋大学入学 4年間アメフト部
- 1976 ● 一橋大学卒業 全日本空輸（株）入社
- 1987 ● ハーバード大学ケネディ行政大学院修了
- 1999 ● 全日空企画部門で定期国際線進出や最新航空機購入を先導し、他業界に飛び出す
- 2003 ● 新規航空会社スターフライヤーを創業
- その後 ● （株）クラシックタイム代表取締役として空港民営化等のアドバイザー業務を実施
- 2023 ● 蓮田市議会議員に就任

私は72歳ですが、民間で学び、培った好奇心、行動力、新しいものへの探究力は誰よりも強いです。市議会議員として3年間蓮田市政と向き合い、常に施策をチェックし、新たな方策を提案してきました。しかしこれらの思いや考えを実現するには、議会と執行部（市長）、多数派と少数派という今の仕組みの中では限界があると痛感し、**提案する立場から、自ら市政を動かす立場へ踏み出す**ことを決断しました。この4年間自分の全てを注ぎ込み、蓮田の未来と、次の10年～15年を動かす土台をつくり出すことをお約束します。

武藤やすし

